

rivière vol.50

リビエール
武庫川女子大学通信



Mukogawa Women's University, Mukogawa Women's University Junior College Division
大学と在学生、OG とを結ぶ情報誌

2023
WINTER



CONTENTS

3

巻頭特集

リビエール50号記念 「一生を描ききる女性力を。」

特集1 活躍するOG座談会

MUKOJOラジオ同窓会

鈴木 亜矢さん 佐々木 彩さん 島山 世理菜さん
梅谷 夏帆さん 長田 紫苑さん

特集2 活躍するOG対談

夢×グラウンドキーパー

阪神園芸株式会社 スポーツ施設本部スポーツ施設部
石躍 奈々さん

株式会社広島東洋カーブ 施設運営部マツダスタジアム課
長村 香澄さん

10

武庫川就職掲示板

気になる就職活動の“今”を
お伝えするコーナー

12

武庫川TOPICS

キャンパスの情報を紹介します!!

16

帰ってきた文化祭!

3年ぶりに対面開催

18

帰ってきたアメリカ留学

2年半ぶりに再開

19

新学部、新学科のスタートに向けて 教室も続々リニューアル!!

20

リカレント教育

MUKOnoa+ スタート!

21

むこじょTV

武庫女のテレビ放映中
教職学協働で武庫女をアピール

22

学生・生徒の活躍

華々しい受賞結果をご報告

23

HONTANA

リビエール ブックセレクション

rivière リビエール 武庫川女子大学通信 Vol.50 2023 WINTER (2月)

●発行/武庫川学院 ●編集/武庫川学院広報室
●企画デザイン協力/大和出版印刷

rivière vol.50

Mukogawa Women's University,
Mukogawa Women's University Junior College Division



今号の表紙

リビエール1号から最新号の表紙を並べたデザインです。当初のテイストや冊子の形などの変化から、リビエールの歴史を感じられるものとなりました。スクールカラーのラズベリーレッドにゴールドの組み合わせが、おめでたい雰囲気を出しています。

Editor's note

リビエールは、1998年3月10日に第1号を発行し、このたび50号を迎えました。当時、学内の刊行物として、生徒・学生の父母等や卒業生に向けた「学園通信」(1968年11月～2008年2月)、「武庫川学院広報」(1976年12月発行、現「武庫川学院報」)がありました。伝統あるこれら2誌に対し、リビエールはよりカジュアルな広報誌として、学内外に学院の「今」を発信することを目指しました。2008年度に「学園通信」と統合してA4版に大型化し、現在のスタイルになりました。

創刊号では、巻頭特集で当時の日下晃学院長が卒業生のジャーナリスト村上和子さんと対談。日下先生は、リビエールを情報ネットワークの基地と位置づけ、「先生方、OG、学生と3者がタテヨコ柔軟にコミュニケーションできれば」と語っています。

その思いを受け継ぎ、これからもリビエールは、学院の「今」を発信していきます。

リビエール50号記念
「一生を描ききる女性力を。」

特集 1 活躍するOG座談会



MUKOJOラジオ同窓会

2017年4月から3年間、FM大阪で放送した「MUKOJOラジオ」。学生や卒業生、教職員、延べ200人以上の方が出演しました。さらに「湊かなえの『ことば結び』」へと引き継がれたラジオプロジェクトは、2022年3月に完結。これを記念して「MUKOJOラジオ」出演者による座談会を22年11月29日、中央図書館のグローバルスタジオで開催しました。出演時のお話から現在の活躍ぶり、今後の夢や目標まで、5人のOGの皆さんが語り合いました。



第136回出演 鈴木 亜矢さん

株式会社アルカ
アルカ北千里薬局 薬剤師

薬学部生物薬学科 1997年卒

患者さんの近くで心を込めて
目指すは“生涯現役”



第77回出演 佐々木 彩さん

ベビーマッサージ教室講師、
似顔絵・イラストレーター、
オンライン書道教室講師

文学部日本語日本文学科 2007年卒

書道をすべての出発点に
やりたいことに次々挑戦



第75回出演 島山 世理菜さん

Robert Harf Japan
大阪社社長

文学部英語文化学科 2010年卒

外資企業のヘッドハンター
世界を舞台にビジネス拡大



第2回出演 梅谷 夏帆さん

起業家
草木染造形作家

生活環境学部生活環境学科 2018年卒

在学中から続けた作家活動
創作も子育ても自分らしく



第52回出演 長田 紫苑さん

音楽専攻科
声楽専攻在学中

音楽学部演奏学科 2022年卒

春からは中学校の音楽教員
音楽の楽しさを伝えたい





ラジオ出演当時から現在へ
歩んできた道のりを振り返る

——まずはラジオ出演を振り返っていただきます。出演の感想とともに皆さんの近況を教えてください。

鈴木 ラジオでは薬剤師になるために寮生となり、附属高校から入学したこと、薬剤師の仕事などについて話しました。現在は多数のクリニックが入る医療ビル内の調剤薬局で働いています。毎日大量の処方箋を扱う忙しい薬局で、調剤はもちろん、通院が難しい方の自宅へ薬を届けたり、薬の管理をしたりという業務を担っています。

佐々木 ラジオ出演時は1人目の子どもを妊娠中で、会社員として働きながら趣味でイラストを書いていました。今はイベントで似顔絵を書いたり、ポストカードを販売したりしているほか、ベビーマッサージの講師を活動の中心にしています。昨年2人目を出産後に、コロナ禍もあって精神的につらくなりました。そんなお母さんの居場所を作ろうと、ベビーマッサージの教室をオープン。お母さんたちの似顔絵を描いたり、赤ちゃんの手形・足形にイラストを添えたりする活動をしています。宝塚市の子育てマップ作りにも挑戦し、イラストを描かせてもらいました。

畠山 2015年にアメリカの人材紹介会社Robert Hart Japanに入社して、IT業界専門のヘッドハンターとして勤務しています。ラジオ出演時は入社4年目。ラスベガ

授業を通じてアクセサリ事業に生かせるアイデアを学ぶのがとても楽しかったです。それが現在の仕事につながっていますし、今もいろんな本を読んでは仕事に生かすヒントを探すのが習慣になりました。

長田 私にとって武庫女は家であり、原点です。中学で友だちに誘われて入部したコーラス部で音楽を始め、顧問の先生からは礼儀やマナーも教わりました。大学の音楽学部では音楽の師匠と呼べる先生に、母のように大きな心で愛情をかけて育てていただきました。卒業後は中学の音楽教員になる予定なので、武庫女で出会った先生方のような良き教師像を目指したいです。

——皆さんにもコロナ禍の影響があったのではないのでしょうか。大変だったことはありますか。

長田 大学3年生からコロナの影響を受け、しんどい時期がありました。思うように歌えず、オンラインのレッスンも不安でした。ただ、そういう時期を経て、人と会うことや対面で学ぶことの良さを感じました。

鈴木 通常の業務で手いっぱいなのにコロナ禍で新たな仕事が増えました。本当に大変で、患者さんとゆつくり話をする時間がなかなか取れない状況を今も残念に思っています。

佐々木 教員免許と書道の師範の免許を生かしたいと考えているときにオンライン指導を思い立ち、小学生対象の書道教室を始めました。最初は不安でしたが、子ど



畠山 世理菜さん

りで開催される、全世界で売り上げトップ15の社員だけが参加できる授賞式の舞台に立ちたいと語りました。妊娠中でしたが、夢の実現のために頑張った結果、上位にランクインできました。ただ、授賞式が出産予定日2日前で参加はかなわず。残念でしたが、産後に復帰してからは毎年選んでいただけるようになりました。現在はRobert Hart Japanの大阪オフィスの責任者です。

梅谷 大学4年生のときに出演しました。生活環境学科の古濱裕樹先生のゼミで草木染を勉強している時期でした。卒論のテーマにした「草木染アクセサリブランドの提案と実践」を実行し、今も草木染作家として活動しています。夢だった海外出展も2年前に果たすことができ、昨年は手芸本を出版しました。4カ月前に出産し、今は子育てをしつつマイペースに制作を続けています。

長田 附属高校3年生のときにコーラス部の前部長として出演しました。中高6年間コーラス部で歌い、高3では部長を経験。ラジオで話することで、改めてコーラ

もたちはみるみる上達して賞を取ってくれました。今はオンラインでのお習字もありと実感しています。

畠山 ヘッドハンティングは転職したい人ではなく、今の仕事に満足している人に新たな職場を勧める仕事です。コロナ禍でオンラインを導入しましたが、ハンティングは直接会って話をするのが大事なので、オンラインでは心の距離が縮まらず苦労しました。それでも回数を重ねていくうちに慣れてきて、今はもうオンラインの方が効率的に思っているほどです。



梅谷 夏帆さん

梅谷 コロナとは直接関係ないですが、個人事業主で全部自分でやらないといけないのが大変です。まずは何年後にこうなりたいという目標を設定。そこからどんな逆算して、今月は今週は今日は何をするか決めていきます。いろいろ試した結果、私に一番合う働き方は1日6時間で週5日ということが分かりました。今は子育てで優先度ペースを落としています。それも含めて今後も自分のペースでやっていきたいと思っています。



長田 紫苑さん

入部で良かったという思いをかみしめました。当時は音楽学部進学への不安もありましたが、大学4年間もとても楽しく、充実した学生生活を送ることができました。あまりにも楽しかったので音楽専攻科声楽専攻に進学し、今も歌を続けています。秋にはプロのオペラにも出演させていただきました。

武庫女で学んだ時間が
今の私につながっている

——それぞれの「活躍ぶりがよく分かります。そんな今の皆さんに、武庫女時代の学びはどうつながっていますか。

鈴木 武庫女は女子ばかりのせいとか、何でも自分たちでやろうという空気がありますよね。その姿勢は今の仕事にも生きています。問題が起きて、とりあえずやってみよう！と思えますから。高校の先生に教わった「出船の構え」という言葉も大切にしています。何が起きてもいいように普段から準備しておきなさいという意味で、

思うカタチは自由で柔軟
「女性力」を考えてみる

——武庫川女子大学では「女生を描ききる女性力。」をビジョンに掲げています。皆さんが思う「女性力」とはどんな力でしょうか。

鈴木 女性力＝人間力かなと思います。女性は時間制限がある中で選択を迫られる場面がたくさんあります。今必要なのを見極める力、優先順位をつけて実行していく力も女性力でしょう。年齢や状況にあわせて、より良いやり方を見つけたたり、新しいことに挑戦したりしていけばいいと思います。

佐々木 書道が自分の軸になっていた方、そこからぶれてはいけないと決めつけていた時期がありました。ただ、結婚・出産をして環境が変わっていくうち、自分がやりたいこと、できることをやってみようと思えるようになりました。どんな環境に置かれても、そこに心を注げることが女性力なのかなと思います。



佐々木 彩さん

年齢とともに理解が深まりました。薬局の現場は毎日がハプニングの連続で、日々の勉強も大変ですが、武庫女で学んだことが役に立っています。

佐々木 武庫女ではゼミも含めて書道を専門に学んでいましたが、実は途中で書道が面白くなくなった時期があったんです。前に進めたのは、筆で遊び、文字を書いていたのをゼミの先生が面白がってくれたから。あのとき、お手本通りに美しく書くだけじゃなくていいんだと思えたことが今の活動につながっています。

畠山 私は中学・高校・大学と武庫女で、中高では新体操部に所属していました。顧問の先生に毎日言われたのが「1日1ミリの努力」。泣きながら頑張ったあの6年間が私の基盤になりました。大学は英文科に進み、2年生のときにアメリカ分校に留学。レギュラープログラム後に希望者が参加するエクステンションプログラムにも参加し、好奇心のスイッチが入りました。帰国してからも英語を使う環境を大切に、結婚後にアメリカに移住したときも専業主婦の道を選ばず現地の人材紹介会社で働いた経験が今の仕事につながりました。武庫女で学んだいくつもの点と点がつながって今の私があります。

梅谷 今の仕事と直結しているのは、ゼミで染色の研究をしたことです。最初は何気なく見学したゼミでしたが、ここからいろんなことが始まりました。もう一つは共通教育です。高校在学中からアクセサリ作家として活動していたので、共通教育の

畠山 精神的にも経済的にも、そして社会的にも自立していることが女性力だと思います。そういう女性であるためには、学生のと時から考えていかなければならないはず。予期せぬことが起きても強く生き抜いていくには、自立の力が必要です。

梅谷 妊娠・出産を経験して、大変さを実感しています。体の変化、気持ちの変化、環境の変化がすごく大きかったです。ただ、人生の中では予想できないことが起きます。そのときに柔軟に対応できる力が必要です。それが女性力なのかなと感じます。経済的な自立も大事です。子育ては大変ですが、わずかな空き時間でも仕事をしてお金を稼ぐ方が精神的なバランスは保てると感じます。

長田 女性らしい美しさは大事だと思います。女性らしく、男性とは違ったしなやかな身のこなし方ができるのも女性力ではないのでしょうか。私は女性だからその魅力を使って周りに貢献したいですし、うれいこともしんどいこともまとめて乗り越えていきたいです。



鈴木 亜矢さん



(左)塩田 えみさん、(右)湊 かなえさん

MUKOJOラジオ

湊 かなえの
ことば **結び**

武庫女の2つのラジオプロジェクト完結!

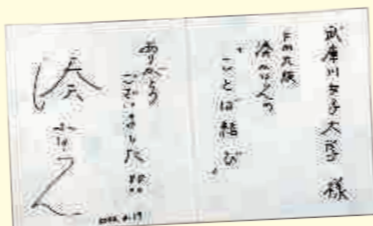
「リビエール」第50号、おめでとうございます。

小説家：湊 かなえ さん

武庫川女子大学家政学部被服学科(現・生活環境学部生活環境学科)卒

FM大阪「湊 かなえの『ことば結び』」はコロナ禍の中での開始だったこともあり、ラジオを通じて、声でつながる人と人との絆について深く考える機会となりました。声のみで伝えるというシンプルな行為だからこそ、日常よりも「ことば」を大切に扱うことができたように思います。他のラジオ番組にはあまりない、リスナーによる小説や文章の投稿というハードルの高い企画にもチャレンジさせてもらいました。回を重ねるにつれ、投稿作品の精度が上がリ、「文章を書くことが楽しくなった」といった声も寄せられたことは、番組を続けるにあたり、強い

励みになりました。また、武庫川女子大学内での公開収録では、学長であり、恩師でもある瀬口和義先生と、大学4年生時の研究室でのさまざまな懐かしいエピソードを振り返ることができ、宝物のような時間を過ごさせていただきました。このような貴重な機会をいただき、心より感謝いたします。



フリーアナウンサー

DJ：塩田 えみ さん

武庫川女子大学短期大学部国文科(現・日本語文化学科)卒

ラジオプロジェクトを振りかえって

「MUKOJOラジオ」が3年、「湊 かなえの『ことば結び』」が約2年、トータル5年ほど番組のパーソナリティを務めました。

「MUKOJOラジオ」では、社会で活躍する卒業生の方々のお話を聴かせていただくという構成。起業されている方が意外に多く、お仕事を続けていくことの難しさや、うまくいったときの喜びなど、いきいきとお話される姿を見ました。

そこで感じたことは、社会で活躍されている方は、「たくましさ」と「しなやかさ」の両輪で動いているということです。

そして「湊 かなえの『ことば結び』」でご一緒させていただいた湊 かなえさん。まさに両輪で前へ前へ進んでおられます。か

なえさんのご活躍は説明するまでもないですが、そのお仕事ぶりには圧倒されました。加えてとってもキュートな方です。在学当時の懐かしいお話も含め、楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。

ラジオはウソがつけられない媒体です。その人の本質がさらけ出される怖さもあります。だからこそ出演してくださったみなさんの飾らない素の部分が、喜ばれたのだと思っています。

どのような場でもやはり最後は人としての魅力に勝るものはないな、と改めて考えさせられたラジオ番組でした。

関わってくださったすべての方々へありがとうございました!

MUKOJOラジオ

武庫川女子大学が企画から提供までをすべて手がけたオリジナルラジオ番組。毎回卒業生や在学学生、教員がゲスト出演し「輝く女性を応援!」をテーマにトークを展開しました。DJは本学卒業生の塩田えみさん。FM OH!で17年4月~20年3月まで156回放送。

放送内容は「読むMUKOJOラジオ」「読むMUKOJOラジオ」にまとめられています。

湊 かなえの『ことば結び』

本学卒業生の小説家、湊 かなえさんがDJを務めたラジオ番組。湊さんとリスナーが一つの短編小説を完成させる小説家ならではの企画をはじめ、湊さんの日常にまつわる楽しいエピソードトークも。アシスタントは塩田えみさん。FM大阪で20年6月から22年3月で96回放送。

2022年10月、書籍「湊 かなえのことば結び」が角川春樹事務所から全国発売されました。



それぞれの世界で描く
五人五色の夢と目標

— 今後の夢、目標を聞かせてください。

長田 中学校の教員になるのが夢だったので、今はそれに向かつて進んでいるところで。音楽やクラシックの楽しさを子どもたちに伝えてファンを増やすことで、今までお世話になった方々に恩返ししたいです。

梅谷 草木染の造形作家を続けて、最終的には夫と一緒にカフェやアトリエ、ギャラリーなどを集めた複合施設を作りたいです。その夢が実現するように、今のアクセサリブランドを大切に育てていきたいです。

畠山 さらになるビジネスの拡大に向けて、大阪オフィスのみならず頑張っています。もう一つは、学生のロールモデルになるような活動。私自身がキャリアの途中でいろんな苦労してきたので、学生が社会で羽ばたいていくための情報を共有したり、就活のヒントや企業情報、仕事情報を発信したり、世の中で活躍する人を増やす活動をしていきたいです。

佐々木 2人の娘にはいろんなことにチャレンジしてほしいですし、それを受け入れられる母になりたいです。ベビーマッサージ教室ではお子さんとのふれあいの素晴らしさを伝えながら、私にしか描けない絵や字を交えて私らしい教室にしていきたいです。

しても仕事は続けていきたいですし、その中でも今までやってきたことを生かしながら、新しい分野にも挑戦していきたいと思っています。

**変わらない武庫女へ送る
エールとメッセージ**

— 武庫女のここだけは変わってほしくないところはあるありますか。

鈴木 共学になる女子大が多いですが、武庫女はずっと女子学園であってほしいです。

佐々木 共通教育の充実が武庫女ならではの強みとして環境で学生個人の持つ強みを最大化できるのが、武庫女の魅力。そこは残してほしいです。

梅谷 先生との距離の近さです。そのおかげで学びを深められたので、先生の近くで学べる距離感は今後も大切にしていきたいです。

長田 アットホーム感を持ち続けてほしいです。私も中学からのびのびと過ごしました。これからも温かく、個性を大切にできる場所であり続けてほしいです。

— 最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

鈴木 悩むより、まずは挑戦してください。友だちもすごく大切。しんどいときに

力になってくれる友人を大切にしてほしいと思います。

佐々木 いろんなことにチャレンジしてほしいです。就職すれば終わりではなく、未来はいくらでも変えられます。挑戦は必ず自分の未来につながります。

畠山 武庫女には学びの種がたくさんあります。在学中に学びの種を一つ一つ拾いながら、吸収できることをすべて吸収して社会に羽ばたいてほしいと思います。

梅谷 大学での学びを実践するのは卒業してからと思わず、在学中に小さくても実践できる場所を持つておく、ということに取ったり、さまざまな分野の共通教育科目を受講することで視野を広げました。小さなきっかけでも世界は広がります。武庫女の充実した環境を利用して視野を広げてほしいと思います。

長田 自分が好きなことや楽しいこと、興味を持てることは、普段の学生生活から探ることが出来ます。自分の心を動かして、少しでも興味のあることはその気持ちが続く限りやってみてほしいです。それが将来の仕事につながりなくても、自分の支えになったり、彩りを与えてくれるものになります。ぜひ学生の間にいろんなことに挑戦してください。



イラスト：佐々木 彩さん





夢 × グラウンドキーパー

さまざまな球場で、大学や高校で、グラウンドの整備を行うグラウンドキーパー。男性が多い職種でしたが、武庫女OBが新たな道を切り開きました。阪神甲子園球場の「神整備」で知られる阪神園芸の石躍奈々さんと、広島東洋カーブの長村香澄さん。両社で女性初のグラウンドキーパーとして、メディアでもたびたび取り上げられています。同じ夢を追いかけて、実現したお2人がリモートで対談しました。

特集 2 活躍するOG対談

長村 香澄さん

株式会社広島東洋カーブ
施設運営部 マツダスタジアム課
健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科 2022年卒



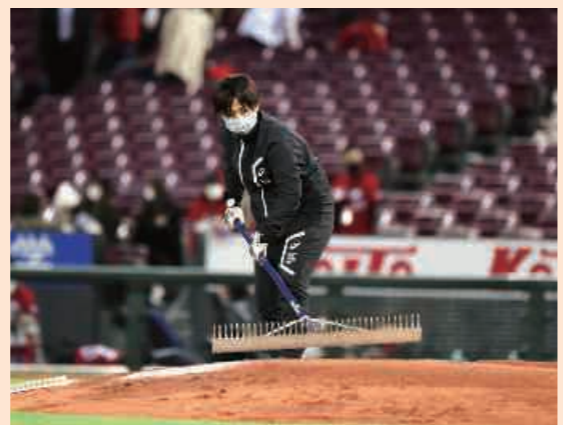
広島市出身。中学からソフトボールを始め、高校時代にインターハイベスト16に進出。大学でもソフトボール部に所属。現在は、マツダスタジアムや地方球場のグラウンド整備をはじめ、秋季・春季キャンプの設営などにも携わっています。

石躍 奈々さん

阪神園芸株式会社
スポーツ施設本部スポーツ施設部
健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科 2021年卒



西宮市出身。小1からサッカーを始め、中学では「セレッソ大阪堺レディース」でプレー。高校、大学でも女子サッカー部に所属。現在は地方球場や大学、高校のグラウンド整備を担当。昨夏的女子高校野球で阪神甲子園球場デビューを果たしました。



グラウンド整備のプロになる
——1年違いでグラウンドキーパーになりました。今、どんな仕事をしているのですか。

石躍 阪神園芸のスポーツ施設部で大学や高校のグラウンド整備を行っています。22年夏、女子高校野球の決勝戦で甲子園球場でのグラウンドキーパーデビューを果たし、高校野球期間中のグラウンド整備や芝生管理、大観衆の中でのライン引きを経験しました。

長村 シーズン中は、マツダスタジアムのグラウンド整備や練習のサポート、試合中、試合後の整備をしています。地方球場の設営や整備にも関わり、シーズンオフには宮崎キャンプの設営に出掛けます。

グラウンドキーパーの仕事で楽しいこと、大変なことは何ですか。

石躍 ショッピングモールなどでも芝生管理をしているのですが、お客様から「芝生がきれいね」と声をかけてもらうことがよくあり、やりがいを感じています。大変なことは散水で、特に甲子園球場は放水ホースの水圧が強く、持っているだけで一杯。自分が吹っ飛びそうになります。水をまく量の調整も難しく、大変な仕事です。

長村 楽しいのは、大好きな野球を間近で見ながら仕事ができることです。緊張感やプレッシャーもあります。カーブが勝ったときや、選手に「ありがとう」と声をかけてもらったときはとてもうれいんです。大変なのは体力的な部分です。特にナイターの日には試合後の整備が遅くなり、長時間の勤務になります。

やってみたい！から始まった

——お2人は、なぜグラウンドキーパーを目指したのですか。

石躍 小1から始めたサッカーでは小中高と人工芝のグラウンドでプレーしていましたが、武庫女のサッカー部で初めて土のグラウンドを経験。ポコポコのグラウンドに毎日トロンボンをかけるうち、整備の大切さに気付かされました。就職活動ではスポーツをやる人を支える仕事に絞りを絞り、行き当たったのがグラウンド整備です。これを仕事にしたいと感じて今の会社に入社しました。

長村 カーブの大ファンで、球団職員になってチームを支えたいというのが最初の目標でした。自分に向いている職種を考えたときに、浮かんできたのがグラウンドに関わる仕事。野球が大好きだったからです。武庫女

のソフトボール部で2年間控えメンバーを経験したのも大きかったです。裏方としてチームを支える仕事に魅力を感じるようになりました。

——同じ仕事をしていて、お互いに聞いてみたいことはありますか。長村さんから石躍さんへどうぞ。

長村 力仕事が多いと思いますが、体のケアはどうしていますか。

石躍 1年目は毎日筋肉痛でした。情けなくてジムに通いましたが、仕事をすると力がついてきました。機械用のガソリンタンクの積み降ろしなど、最初はできなかったことも今はできています。

長村 一番しんどい仕事は何ですか。

石躍 やはり散水です。ホースの扱いもそうですが、単発で他のグラウンド整備に行

くことも多いので、どれだけ水を入れていいのかを判断するのが難しいです。

——では、石躍さんから長村さんへどうぞ。

石躍 入社して苦労したことは何ですか。長村 マウンドの整備です。マウンドには傾斜があるので、均等にならすには技術も体力も必要です。今でも完璧にはできず苦労しています。

石躍 プロ野球選手からはどんな要望を受けますか。

長村 走路や内野での土の硬さの要望や、練習中に守備の選手からへこみを指摘されることがあります。

武庫女での学びが築いた現在

——武庫女の思い出を聞かせてください。

石躍 中学・高校の保健体育の教員免許を取得するために、陸上や水泳、ハンドボールなど、体を動かす授業をたくさん受けました。体力が付き、チームワークが学べたのはとても良かったです。

長村 印象に残っているのは、陸上の授業で全力で400mを走った後、足が動かさず立ってなくなったことです。送迎のバスに間に合わず、タクシーで次の授業に向かいました。あと、「華SAKU食堂」で毎週のようにちんすこうアイスを食べたのも楽しい思い出です。

——武庫女で得たもの、今につながっているものは何ですか。

石躍 在学中に取得したマイクロソフトオフィスWord・Excelの資格は予算管理などの事務作業に生きています。就職活動では教員免許を取得したこともアピールの一

つになりました。

長村 教員免許取得の勉強は、学生アルバイトに指示を出すときなどに役立っています。人にとって動いてもらうかのポイントを学びました。ソフトボール部で裏方の仕事を体験したことや、ゼミで物事をいろんな角度から考える大切さを学んだことも今につながっています。

——武庫女では、100周年に向けたビジョンで「生を描ききる女性力」を掲げています。女性力とはどんな力だと思いますか。

石躍 女性ならではの気配りや繊細さだと思います。ちょっとした気配りができたり、細かい作業を最後までやり遂げたりできるのが女性力なのかなという気がします。

長村 時代に負けない根強い力ではないでしょうか。女性が働ける場、活躍できる場

は増えています。男性の職場で大変なこともあります。男性の職場で大変なこと増えているので、男性の職場で大変なこともありますが、それでも耐えていく力、逃げない力が必要だと思います。

——最後に、後輩の皆さんへメッセージをお願いします。

石躍 男性も女性も関係なく、何でもできる時代です。やりたいことがあればぜひ挑戦してください。グラウンドキーパーもあきらめなければ女性にもできます。これからはどんどん増えてほしいです。

長村 まずは学生生活を楽しんでほしいです。好きなことに没頭し、悔いのないよう楽しんでください。就職活動は、やらずに後悔するのはいけません。私はカーブに応募するとき、挑戦しなければ後悔すると決意したことで今があります。どんなことにもチャレンジしてほしいです。

武庫川 就職 掲示板

気になる就職活動の“今”をお伝えするコーナー。



健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科 4年

三津谷 真理子さん

PL学園高校出身

就活への切り替えを決めて
自分の強みを発見する

保健体育の先生になるために、健康・スポーツ科学科に入学しました。教職課程を履修しましたが、専門的な授業が増えていくと次第に、自分は先生に向いているのか？憧れたじゃないのか？と迷いが出てきました。

企業への就職も選択肢に加えようと、教職の勉強をしつつ、合同説明会やインターンシップに参加。並行して進めるうち、自分の良さを生かして活躍できるのは、一般企業だと感じるようになりまし。就職から就活へ、切り替えたのが3年生の10月です。そこからは本格的な就活のために

関西電力株式会社

エリア総合職

自分らしく活躍するために
教職からの転換を決意。
深く掘り下げた自己分析が
第一志望の内定につながりました。

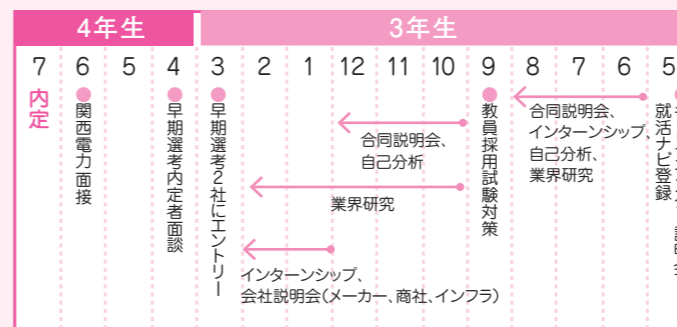
中学・高校の保健体育の先生を目指していた三津谷さんが企業への就職に目を向けたのは3年生になってからのこと。考えに考えて就活一本に切り替えた秋以降は、自分自身を見つめ直すことから始めたそうです。就活を決断し、第一志望の関西電力に内定するまでを振り返ってもらいました。

キャリアセンターへ駆け込み、十分ではなかった自己分析に力を入れました。浮かび上がった私の強みは、ねばり強い実行力とリーダーシップ。小学生の頃から剣道を続け、大学では剣道部の主将を務めた経験から培ったものでした。

働く姿をイメージして
インフラ業界を志望

自己分析から見えた強みを生かすには、商社やメーカーがいいのではないか。キャリアセンターのアドバイスマもあって、3年生の秋以降はメーカーと商社を中心に就活を進めました。さらに、身近なのに詳しく知らないイン

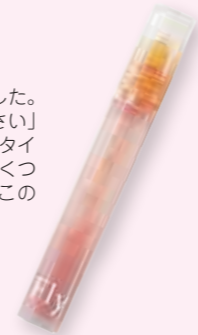
内定までの就活スケジュール



就活にお役立ちオススメ小物

ティントリップ

面接時のナチュラルメイクに役立ちました。対面の面接では「マスクを取ってください」と言われることがありますが、ティントタイプなら色落ちを気にせずに済みます。いくつか試して、発色が良く落ちにくかったこのリップを愛用しました。



A6サイズノート

普通のノートよりコンパクトで、企業情報をまとめたり、企業主催の座談会や面接の記録を残したりするのにちょうどいいサイズです。オンライン面接ではパソコンの横に置いて活用しました。持ち運びもしやすいので、移動中にパラパラと見ることも多かったです。



一社に絞って全力投球
不器用でも熱意は負けない

また、就活だけでなく部活との両立に努めました。4年生の4月、5月は剣道部の大きな大会が迫り、部活に没頭。就活にはほとんど取り組めませんでした。関西電力をはじめ、3月にエントリーした企業から全く連絡が来ず、焦る気持ちがあったのがこの頃です。

諦めかけていた関西電力から二次面接の案内が届いたのは、エントリーから2カ月以上たったからでした。オンラインのグループ面接では、緊張しすぎて手がこたえはゼロ。間違いなく落ちたと思ったので、二次面接の案内が届いたときは信じられない気持ちでした。そこからもう一度自分の強みを確認し、面接の練習も繰り返ししました。面接前に採用担当から、「熱量を持って志望度の高さを伝えればいい」とアド

バイスされたのも心強かったです。それからは、第一志望に決めた関西電力に全力投球。他社の選考は受けずに準備を進めました。対面だった二次面接もやはり緊張しましたが、不器用でも熱量を持って臨めたのは良かったと思います。内定の連絡をいただいたときは本当にうれしかったです。

私が志望したエリア総合職は、転居を伴わず、地域の最前線で活躍できる職種です。社会を支える実感を抱きながら仕事ができると思うので、入社後も自分らしく努力して成長し、長く地元関西の人や暮らしに貢献していきたいと考えています。

Myピタモン

剣道部の仲間や、剣道を通じて出会った方々の存在がいつも力をくれました。剣道を通して学んだことは本当にたくさんあり、大学生としては最高位の四段を取得することもできました。剣道が私を育ててくれたと思います。



後輩へのアドバイス

三津谷さんが活用した本

『「1日10分」から始めるSPI基本問題集'23年版』
柳本新二 著(大和書房)



失敗を次につなげる

面接で緊張してうまく話せないことはよくあります。でも、そこで自信を失って下を向いたら失敗のまま終わります。言葉に詰まっても誠実に対応すれば大丈夫。失敗の経験を次に生かすことが大事です。

できることに目を向ける

自分の強みを生かすことに最善を尽くしましょう。周り比べて焦ることもありますが、完璧な人はいません。自分にできること、今できることに集中して、前向きに取り組んでください。

いろんな人と話す

就活に直接関係のない話でも、いろんな人と会話をすることが自己分析につながります。就活では端的に話すことが求められます。普段から「聞く力」と「話す力」を磨くことを意識するのがおすすめです。

武庫川 TOPICS

#50

学園全体のニュースを知るにはこのページをチェック! キャンパスの情報をご紹介します!!

甲子園会館の音楽会「武庫川コンチェルト」



当日の演奏風景

11月13日に甲子園会館にて「武庫川コンチェルト」が開催されました。昨年は無観客下での動画収録でしたが、今回は感染症対策を十分に行った上で観客を伴う形で実施されました。オーディションで選考された3人のピアノ専修の学生が、それぞれの協奏曲を披露し、兵庫芸術文化センター管弦楽団との熱演を繰り広げました。

教授 藤村 匡人
(大学 演奏学科、応用音楽学科)

兵庫県立美術館で展示会を開催しました



兵庫県立美術館での展示会の様子

建築学部の学び舎「甲子園会館」を建築学研究科の大学院生30人が調査し、展示会「甲子園会館に学ぶ/で学ぶ」を9月15日から27日まで兵庫県立美術館で開催しました。多彩な装飾を正確に書き写した原寸図面や実測調査に基づく詳細図、1/50の模型を製作し、甲子園ホテル時代の客室のCG再現動画を上映しました。

准教授 猪股 圭佑
(大学 建築学科 / 大学院 建築学専攻)

インターンシップ授業に参加しました!!



海産物の外口箱前で

食創造科学科では、3年生が約50施設の企業・研究所・団体等でインターンシップ実習を行っています。神戸市中央卸売市場では、5日間にわたって早朝から水産や青果のせり見学、水産仲卸店舗の業務体験、食品衛生検査所での実習、西部市場を含む施設見学、その他市場内の事業者などの役割について学びました。

准教授 高野 義彦
(大学 食物栄養学科、食創造科学科/短大 食生活学科)

薬系初の有償制インターンシップを実施



調剤関連業務に専念中の紀本さん

薬学部では国内初となる、有償制インターンシップが行われました。選抜された11人の学生が、アルバイトとして調剤関連業務や患者対応を行いながら、自身の将来像の参考として薬剤師・医療事務職の仕事ぶりを観察し、指導を受けました。低学年で臨床現場を体験したことで、今後の目標も明確になったようです。

学科長 森山 賢治(大学 薬学科)

二学科で合同講義を実施しました

健康生命薬科学科の「化粧品開発論」と経営学科の「美容業界論」では、マーケティングの基礎について学び、学習成果として化粧品の新商品の企画立案を行い発表しました。履修生からは「学科の視点の違いに気付かされ、良い刺激になりました」と双方新鮮な刺激を受けたようです。



合同プレゼンテーションの様子

教授 森山 賢治
(大学 健康生命薬科学科)

生理用品無償化の実証実験を実施しました



集合写真



設置デバイス

高橋千枝子ゼミの3年生4人が中心となって、公江記念館トイレで生理用品無償化実証実験を実施しました。利用動向分析と同時に利用者アンケートを実施し、本サービスの満足度や改善点、女性特有の悩みについても調査しました。急な生理に困る女子学生への応急対策の需要は高いことがわかりました。

教授 高橋 千枝子(大学 経営学科)

ウィズコロナ時代におけるシミュレーション教育

看護学部は、文部科学省大学改革推進等補助金による「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に選定されました。質の高い看護師を養成するためにクリニカル・スキルラボ事業プロジェクトを立ち上げ、DX(デジタルトランスフォーメーション)技術を取り入れた演習や実習を行っています。



呼吸音を聴いています

教授 清水 佐知子(大学 看護学科)

2022年度公開講座を開催しました

「児童養護施設児への心理療法をめぐって」



講演でお話される西井先生

3年ぶりとなる対面での公開講座を2022年10月23日に開催しました。感染対策のため参加者は50人と人数制限をしました。講師は、本学名誉教授の西井克泰先生で、児童養護施設児への心理療法について、ご自身の経験をふまえた貴重なお話をいただきました。

助手 梶本 雪子(発達臨床心理学研究所)

市民まつりで地域交流「美味しい漢字教室」

日本語日本文学科の設楽ゼミ、教育学科の吉井ゼミ、食物栄養学科の横路ゼミでは「美味しい漢字教室」という3学科合同ゼミで、尼崎市内子ども食堂において地域交流をしています。10月2日の尼崎市民まつりでは、鯖(さば)や牛酪(バター)など食材の漢字をデザインした缶バッジ作りで、250人以上の市民と触れ合いました。



子ども食堂での食育・漢字教室

准教授 設楽 馨
(大学 日本語日本文学科/短大 日本語文化学科)

大心・短心合同幹事懇談会 最後の開催

大心・短心合同で開催する幹事懇談会では、大学と短大の幹事、学生会委員が一堂に会し、大学生活について教員と意見を交換してきましたが、11月開催の懇談会が最後の合同開催となりました。新学科開設に伴い、次年度から大学と短大ごとに、さらに大心の心理コースと社会福祉コースもコース別に幹事会を運営していきます。



最後の大心・短心合同幹事懇談会

学科長 小花和 W. 尚子
(大学 心理・社会福祉学科/短大 心理・社会福祉学科)

武庫女ビジネスアイデア・コンテストで最優秀賞を受賞!



健康・スポーツ科学科からの参加者



最優秀賞受賞の岩崎さん

第2回武庫女ビジネスアイデア・コンテストで、健康・スポーツ科学科3年生 岩崎文香さん(松本裕史ゼミ)が「チーム武庫女で問題解決!『第2のお母さん』アプリを開発」で最優秀賞を受賞しました。健康に関する悩みを持つ学生と、本学に通う健康分野を学ぶ学生をつなぎ、相談できるアプリを提案、Z世代の悩みを解決するアイデアが評価されました。

教授 松本 裕史
(大学 健康・スポーツ科学科/短大 健康・スポーツ学科)

英語プレゼン4大会で優勝タイトルを獲得



デネブ杯優勝者の馬渡つばささん

全国各地の英語プレゼン大会で7年度連続の上位入賞を続ける英語文化学科が、新たに「デネブ杯」英語弁論大会で優勝。香港杯、青嵐杯、森田・英文毎日杯に続く、4つめの優勝杯を獲得しました。2023年度から「英語グローバル学科」の新学科名で入学生を迎える本学科の発展にご期待ください。

学科長 清水 利宏
(大学 英語文化学科/短大 英語キャリアコミュニケーション学科)
2023年度入学生より英語文化学科は英語グローバル学科に名称変更

2年半ぶりにアメリカ分校留学プログラムが再開

学生も教員も不安の中での準備、渡米となりました。最初は生の英語や垣間見るアメリカ社会の現実に圧倒されつつも、現地の先生方の実践的かつ楽しい授業、東部旅行、スクールオブザベーション、多くの学校や施設への訪問・実習、ボランティア活動等を通して自発性と自信を身に付けた学生たちは、たくましく、輝いて見えました。



Orchard Houseにて

教授 日高 俊夫
(大学 教育学科/短大 幼児教育学科)

株式会社岩佐とのバッグ企画プロジェクト



生地を選定風景と完成したバッグ

老舗バッグメーカーが持つ高い技術力と、池田ゼミの学生が持つ柔軟で若い感性が融合し、今らしい汎用性を意識した「多機能巾着2WAYトートバッグ」と「多機能ショルダーバッグ」が生まれました。形やパーツのアレンジにより、お出かけにも普段着にも合わせられます。バッグは東大阪市のふるさと納税返礼品になりました。

講師 池田 仁美(大学 生活環境学科)

文化祭で4つのゼミが展示・模擬店を出展



展示・模擬店の様子

第67回武庫川女子大学文化祭で、情報メディア学科の天野ゼミ、榎並ゼミ、大森ゼミ、肥後ゼミの4つのゼミが日頃のゼミ活動を通じて制作した作品の展示や模擬店の出展を行いました。いずれの会場でも多くの来場者を集めました。

講師 榎並 直子(大学 情報メディア学科)

景観建築スタジオ東館のタイルの施工体験



景観建築学科2年生の体験の様子

景観建築学科の校舎の隅に、キューブ状のタイルを実際に施工する体験を行いました。タイルは甲子園会館を参考に、安全にも配慮したデザインを検討、学生と教員で制作しました。職人さんから指導を受けた後、学生がタイルの向きや角度に気を付けながら取り付けました。

准教授 森本 順子
(大学 景観建築学科/大学院 景観建築学専攻)

公開講座「個別最適な学びと協働的な学び」

1月28日午後1時30分～3時30分、上智大学教授・奈須正裕氏を講師に、Zoomで公開講座を実施しました。状況が急激に変化し、複雑で予測困難となるこの時代に、学校教育・保育はどうあるべきか、その改善を問う講座。本学学生・教職員・卒業生ほか現職教員・保育士約100人が参加しました。
センター長 伊藤 博章 (学校教育センター)

豊中市と「幼児食講演会」をWEB配信中！

大阪府豊中市と連携し、年3回程度、調理実習と講演会の動画を作成しています。今年11月には「好き嫌い」をテーマに「苦手野菜の克服レシピ」の調理実習動画と「好きも嫌いも楽しくたべよう」の講演会動画を配信しました。この活動を通じて、市民の食や栄養に関する育児不安の解消に貢献できるように頑張っています。

研究員 林 宏一 (栄養科学研究所)

交通安全教室を実施

コロナ禍で中止だった交通安全教室ですが、10月26日に3年ぶりに実施できました。おまわりさんと交通指導員の方に道路の歩き方や渡り方等を教えていただき、園庭に作った道路を実際に歩きながら交通ルールについて学びました。これからも、子ども達が交通ルールやマナーを意識して行動できるように取り組んでいきたいと思ひます。



「車は来ていないかな？」
園長 金光 文代 (附属幼稚園)

『第2回 丹嶺でお泊りクリスマス』を開催



焚火&焼きマシュマロ体験

12月10日～11日に、学生18人が参加。焚火を囲んでの焼きマシュマロやクリスマスの特別メニュー、食後のゲームなどで、笑顔の絶えない楽しいひとときを過ごしました。学生からは「普段みんなと遊ぶ機会がないので良かった」「一人で参加したが快適に過ごすことができた」「いい思い出作りができた」「また参加したい!」とうれしい声が。今後も丹嶺のイベントにご期待ください。



クリスマス特別メニュー

原 万紀子 (丹嶺学苑研修センター)

81名が公務員をめざして学習スタート!

11月19日から、キャリアセンターとの連携講座である「公務員 合格直前対策講座」がスタート!講師2人が担任となり、3月まで20日間87時間の授業を実施します。授業は講師だけではなく、クラス全員で創るもの。主体的に学び合う集団となり、次年度公務員試験への合格をめざします。



初回グループワークの様子
重乃 遼子 (資格サポート窓口)

設立記念シンポジウムを開催します

国際女性デーMUKOJOフォーラム～女性活躍総合研究所設立記念～
2023年3月4日



国際女性デー



SOAR:ソア-

コロナ感染症拡大の影響で開催を見合わせていた研究所設立記念シンポジウムを、2023年3月4日、第3回目となる国際女性デーMUKOJOフォーラムと併せて開催します。基調講演は、徳島県副知事 勝野美江氏と津田塾大学学長 高橋裕子氏が登壇、続いて研究所設立パネルディスカッション、恒例の「生涯キャリアデザインを考える」の最終選考スピーチ&表彰式を行います。詳細はHPをご覧ください。

助手 北村 恵美 (女性活躍総合研究所)

3年ぶり対面の体育大会

2022年10月8日、3年ぶりとなる有観客での体育大会が行われました。予行練習にも丸1日を費やし、各競技や演技のリハーサルを入念に行い、大会当日は、多くの保護者等の方々の前で、迫力ある競技やすばらしい演技に多くの拍手が送られました。生徒も先生も「学年・学校がひとつになる瞬間」を実感できました。



高3創作ダンス



中3武庫川学院愛唱歌

体育科主任 上原 脩 (附属中学校・高等学校)

5歳児 おたのしみ保育



屋台ごっこ、花火 楽しかったね

延期になっていた「お泊り保育」。お泊り無し「おたのしみ保育」と名称を変え11月5日の夕方に実施しました。子どもたちが企画した宝探し、屋台ごっこ、スタンプラリー、そして夕食はラーメン・チャーハンセットをみんなでもりもり食べました。暗くなってからは季節外れの花火も楽しみました。

園長 登佐 直美 (附属保育園)

アメリカ分校留学が再開しました

コロナ禍の影響で中止が続いていたアメリカ分校留学が2年半ぶりに再開しました。秋学期には大英(エクステンション)、短英新、教育学科、そして今回初めての開催となった経営学部プログラムに参加する172人が、アメリカ分校での授業や学生生活により、英語力や異文化理解力を高め、約4か月間の留学生活を楽しみました。



アメリカ分校のキャンパスの様子

副学長 中原 朗裕 (アメリカ分校)

2022年度 臨床教育シンポジウム

コロナ禍における不登校支援の課題を考える
—実践現場からの報告—

2022年11月12日フリースペースたまりは理事長・西野博之氏より、たまりばの実践から見てきたコロナ禍の不登校支援について講演をいただいた後、教育委員会の高見英昭氏、SSWの米田恵美氏を交えシンポジウムを開催しました。コロナ禍の子どもの発達保障における安心できる居場所の重要性、フリースクールと学校の連携の大切さ等について理解を深めました。



西野博之氏の講演

助手 高原 ひろみ (教育研究所)

第13回 甲子プロジェクト研究会

内から外へライトの言葉と建築作品



落水荘(1936)©水上 優

近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライトは、生涯500を超える作品を設計し、同時に膨大な言葉を残しました。自らの作品を「有機的建築」と呼び、「内から外への建築である」と述べています。2022年12月17日の研究会ではその意味や目的など建築思想の核心に迫りました。

講師:水上 優 (兵庫県立大学環境人間学部教授、生活美学研究所嘱託研究員)

研究員 黒田 智子 (生活美学研究所)

世界健康フォーラム 2022・神奈川開催



パネリストの方々と森真理 理事長

12月14日に神奈川県茅ヶ崎市民文化会館にて第43回世界健康フォーラム2022・神奈川が3年ぶりにお客さまを招いて開催されました。「みんなで育むこどもからの未病改善—誰でも学べる新たな食育—」がテーマのパネルディスカッションではスポーツキャスターの寺川綾さんほか5人の方々が盛上がり、子どもの頃から健康な食習慣の重要性を学びました。

事務局 田中 知里 (国際健康開発研究所)

令和4年度シンポジウムを開催しました!

「科学的エビデンスに基づくスポーツアスリートのトレーニングを考える」

令和4年度シンポジウム「科学的エビデンスに基づくスポーツアスリートのトレーニングを考える」のテーマで9月25日にオンライン開催いたしました。参加者は学内外を含め、全国から約390人に達し、盛況で有意義な会となりました。HPにて研究所の情報を発信しておりますのでぜひご覧ください。



健康運動科学研究所HP

助手 森田 彩 (健康運動科学研究所)

「ネーミングの言語文化」を出版

武庫川学院創立80周年記念論文集として『ネーミングの言語文化』(編著者:玉井暉先生)を出版しました。本書は、「ネーミング」「名付け」をテーマとした研究員9人の研究成果です。本学図書館にも納本しておりますので、お手に取ってご覧いただき、ご感想等いただけますとありがたく存じます。



『ネーミングの言語文化』

助教 岸本 千秋 (言語文化研究所)

バイオサイエンス研究所公開セミナー開催



二人の先生が登場/会場での聴講の様子

11月12日に乳がんをテーマにセミナーを開催しました。螺良愛郎先生(関西医科大学・名誉教授)からは、乳がんと初産年齢や食品因子との関係を含めた基礎的な内容を、山本大悟先生(星光病院・理事長)からは、乳がんの診断、手術、治療の歴史的経緯から最先端技術までの内容をご講演いただきました。学生や学外参加者も多数あり、盛況な会となりました。

研究員 鈴木 靖志 (バイオサイエンス研究所)

トルコの教員による連続講義を開催!



講義「トルコの住居」より

10月に、トルコ・バフチェシル大学の教員による連続講義「Lecture Series on Architecture in Turkey」をオンラインで開催しました。「イスタンブールの建築」「ブルサとエディルネの建築」「トルコの木造建築」「トルコの住居」をテーマとした講義を建築学部・建築学研究所の学生たちが受講し、トルコの建築に関する知識を学びました。

研究員 柳沢 和彦 (トルコ文化研究センター)

ミュージアムで博物館実習生を受け入れ



企画展示の資料を梱包する実習生

附属総合ミュージアムでは、博物館学芸員課程の実習生として、9月8日～13日・10月21日～27日(うち5日間)に本学の実習生6人を受け入れました。実習生は学術研究交流館1階の登録有形民俗文化財を用いた企画展示、収蔵庫清掃、害虫調査、受付業務などを体験し、和気あいあいと積極的に学びました。

ミュージアムスタッフも実習生から新鮮な刺激を受け、博物館活動の楽しさを改めて実感する良い機会になりました。

学芸員 平 法子 (附属総合ミュージアム)



たくさんの笑顔に感謝です!

文化祭実行委員長
山口はるかさん
音楽学部演奏学科3年

文化祭実行委員会のメンバー全員が2020年度以降の入学で、対面での文化祭を知らない状況のなか、半年余りの時間をかけて準備を進めてきました。手探りでしたが、伝統ある文化祭を何とかつないでいきたい一心でした。新型コロナの状況が刻々と変わり、対面開催は無理かもしれないと思ったりもありました。それでも最後まで頑張ってくれた実行委員やサポートして下さった先生方、関係者の皆様に感謝の思いでいっぱい。初めてのプログラムを導入したり、オンラインを効果的に併用したりといった新たな挑戦もできました。笑顔があふれ、たくさんの人から「大学の文化祭を経験できてよかった」「楽しかった!」という声をいただいたのがうれしくて、頑張ってたかったと実感しています。



帰ってきた文化祭!

3年ぶりに対面開催

10月7日・8日・9日
第67回武庫川女子大学文化祭「Girls, Be Ambitious!」

体育祭に続き、武庫女の文化祭が帰ってきました! コロナ禍のため、20年度は中止、21年度はオンラインでの開催。対面での開催は実に3年ぶりです。伝統のプログラムはもちろん、新たなコンテンツも加わった67回目の文化祭の様子を紹介します。



“野外ライブ”



“展示”



“ミュージカル”



“模擬店”



“舞台発表”



“ファッションショー”



待ちに待った対面開催で 展示に舞台発表、模擬店も

第67回武庫川女子大学文化祭は2022年10月7日から3日間、「Girls, Be Ambitious!」をスローガンに開催されました。入場は学生と教職員、関係者に限定。感染対策も徹底した上での実施となりました。

前夜祭の7日、俳優の仲里依紗さんによるトークショーで幕開け。8日と9日は展示や模擬店、舞台発表、企画イベントなどが行われました。

展示では、ゼミや研究室、クラブが日頃の学びや練習の成果を発表。音楽学部による恒例のミュージカルも披露されました。舞台発表では、公江記念講堂を会場に各クラブや有志団体が次々登場。伝統の生活環境学科(大学)／生活造形学科(短大)によるファッションショーも華やかに繰り広げられました。大いに盛り上がった舞台発表の様子はオンラインでも配信され、多くの人が視聴しました。



復活した野外ライブや 初めての試みの キッチンカーも大成功

今回の文化祭の企画・準備を進めたのは、総勢83人からなる文化祭実行委員会の学生です。全員が従来の文化祭を経験したことのないメンバーですが、試行錯誤しながら、イベントを復活させたり、コロナ禍に対応した新しいプログラムを立ち上げたりしました。

その一つが、キッチンカーの出店です。飲食関連の模擬店に替えて企画したキッチンカーの出店は大人気でした。また、復活した野外ライブも盛り上がりを見せました。もみの木広場の特設ステージに他大学のバンドやアカベラグループを含め、14のグループが出演。音楽の秋を彩りました。

3年ぶりの開催となった文化祭は盛況のうちに終了。伝統は次回へと引き継がれました。



“キッチンカー”

文化祭
ドキュメンタリー
動画はコチラ





帰ってきたアメリカ留学

コロナ禍の影響で中止が続いていたアメリカ分校留学が2年半ぶりに再開しました。英語文化学科、短大の英語キャリア・コミュニケーション学科、教育学科、そして今回初めての留学となった経営学科の計172人が参加。アメリカ分校に活気が戻りました。



今回の滞在期間は、9月上旬～12月下旬の約4ヶ月間。授業では「リーディング」や「ライティング」だけでなく、レストランでの注文の練習やプレゼンテーションに取り組む「カンパセーション」など、英語で表現する機会が豊富なプログラムを受講しました。放課後や週末には、ドレスでのイブニングパーティーや自然豊かな郊外へのピクニック、アメリカ分校のあるスポークン市の中心街への散策、冬のシーズンならではのアイススケート場などのレジャーも楽しみました。



授業では積極性が求められ、発言する機会が多かったので英語の上達が実感できました。ホームステイで日常生活などを体験することで、価値観が広がったように感じます。ぜひ、またアメリカ分校へ留学したいです。

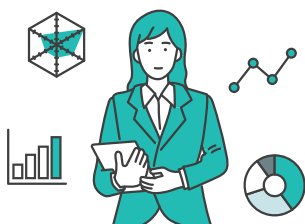


経営学科3年
三神夕渚さん



新学部、新学科のスタートに向けて 教室も続々リニューアル!!

4月からスタートする心理・社会福祉学部、社会情報学部、健康・スポーツ科学部スポーツマネジメント学科の開設準備が、着々と進んでいます。リニューアルが完了した教室や学科の特長を紹介している動画について紹介します。



コミュニケーションも取りやすく、 プログラミングにも集中できる環境へ

社会情報学部 社会情報学科



アクティブラーニングルーム

日下記念マルチメディア館の8階を中心にリニューアル。データをメディア研究やマーケティングの視点から読み解く「情報メディア専攻」は、企画力やコミュニケーションが重要となります。モニター併設のテーブル席がメインのアクティブラーニングルームは、学生同士がディスカッションを行いやすい教室となっています。

最先端のAIやデータサイエンス、セキュリティを中心に学ぶ「情報サイエンス専攻」は、プログラミング技術の学びが重要となります。そのため、プログラミング学習に集中しやすいモニターを設置したレクチャールームもリニューアルされました。

地下には、切り抜きのクロマキー合成など本格的な映像編集が可能なスタジオ、M+ (Mプラス)も開設。

各教室は、自分専用のノートパソコンが使用可能なBYODに対応しています。



臨床現場で貢献できる 学びを目指す

心理・社会福祉学部
心理学科 / 社会福祉学科

文学1号館の3階を中心にリニューアル。行動観察スタジオは、マジックミラーによって隣接している実験室の観察だけでなく、遠隔カメラで演習室の集団行動観察も可能となっています。スクリーンも設置されており、合成や動画撮影も行えるスタジオです。

その他、心理実験室や演習室のリニューアルも実施されています。



行動観察スタジオ

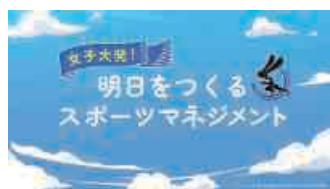


ビジネス視点からスポーツ分野に 貢献できる魅力を発信

スポーツマネジメント学科

健康・スポーツ科学部

学科の特長を、分かりやすくまとめた動画を作成しました。動画内では、身につく力である「スポーツマネジメント力」「スポーツビジネス力」「スポーツ指導・教育力」についてイラストやナレーションで詳しく説明。同学部でスポーツビジネス分野の就職を目指している学生インタビューなども収録されています。ぜひ御覧ください。



QRコード読み込みで
動画をすぐに見られます!





リカレント教育 ムコノアプラス MUKOnoa+ スタート!



HPはコチラ



**武庫女のリカレント教育が、
4月から本格始動**

武庫川女子大学では、西宮北口キャンパスを拠点として、幅広くデジタルトランスフォーメーション(DX)人材を育成し、キャリアアップや成長分野への移動を支援するリカレント教育「ムコノアプラス」を開始します。

主な特長は、「社会人の学び直し」「育成型就職支援」「男性子育て支援講座」の3つ。「社会人の学び直し」では、DX科目を中心に150以上の講座を予定しており、教育訓練給付金が活用できる講座もあります。キャリアアカウンセラーがキャンパスに常駐し、希望者には、大手金融機関との連携によって厳選した転職・再就職先の紹介も予定。また、若年層を対象に、無料でDX講座を提供し受講修了後に就職先を紹介する「育成型就職支援」を同時スタート。入職後1年間は、職場に溶け込めるようキャリアアカウンセラーによるサポートも行います。

次に、パートナー向けのプログラムが「男性子育て支援講座」。男性を支援することで女性が働きやすい世の中を目指す、という逆転の発想による試みです。23年度は栄養クリニックと実習付きの講座を共催予定。またオープンカレッジによる小学生のための金融講座も同日、実施予定です。

西宮北口キャンパスは、阪急線西宮北口駅から徒歩5分の好立地。仕事の後も通いやすく、卒業後も武庫女のリカレント教育でキャリアアップを支援していきます。



栄養クリニックによる小学生親子の料理教室

地域に開かれたキャンパスとして様々な取り組みを実施

西宮北口キャンパスでは、日本最大規模の女子総合大学である本学の教育力・研究力を活かし、リカレント教育以外にも、あらゆる世代の方へ向けた支援やプログラムを提供していきます。22年度は栄養科学研究所による、地域高齢者を対象に、運動・計測・栄養・食事内容について考え、健康寿命を延ばすための「フレイル予防講座」、成人女性対象で「心も体もいきいきと」をモットーに、適正体重をめざす「いきいき栄養学講座」、小学生親子を対象とした食育教室を開催しました。

また、オープンカレッジによる絵画や和歌など教養を深める講座を開講しました。次年度は、それらに加えて学科主催による学内外へ向けたイベント会場としても、活用していく予定です。

西宮北口キャンパスの愛称が「KiTa-E」(キタイ)に決定!



瀬口学長から表彰される井上さん

西宮北口キャンパスの愛称が「KiTa-E」(キタイ)に決定し、発案した薬学科6年の井上恵莉さんに瀬口和義学長から賞品が手渡されました。「KiTa-E」は「西北」の「北」と「期待」「行きたい」をかけており、語感もよく、いろいろな意味に読み取れることから、学内審査で満場一致で選ばれました。

井上さんは「卒業後も自分の考えた愛称が残るといいな」と思い、応募しました。母校が輝くようにという「期待」と、「行きたい」と思ってもらえるキャンパスになってほしいという願いを込めています」とコメントしました。



薬学科6年 井上恵莉さん

武庫女の
テレビ放映中

武庫川女子大学の むこじょTV

毎月第1月曜
午後5:15～

「武庫川女子大学のむこじょTV」、朝日放送テレビで放送中

2022年度からスタートした武庫川女子大学オリジナルのミニ番組「武庫川女子大学のむこじょTV」(毎月第1月曜午後5時15分ごろ)が2023年度も継続決定。学生や教員が案内人となり、さらにパワーアップして「武庫女の魅力」を発信します。

※長尺インフォーマーシャル



#5

「木材資源を暮らしに活かす」(2022年9月5日放送)

案内人 真弓千優さん(生活環境学科4年)

生活環境学科の丹波の木を使った商品開発の取り組みを紹介しています。



#6

「大学女子野球の強豪 野球部」(2022年10月3日放送)

案内人 野球部のみなさん

リーダーシップを活かしてキャプテンから教師へ。



#7

「玄米で社会貢献&食を通して人生を豊かに」(2022年11月7日放送)

案内人 関美乃里さん(食物栄養学科3年)

武庫川女子大学のSDGsを牽引する、ブラウンライスボランティアの活動を紹介します。



#8

「学び舎の屋上はいちご畑」(2022年12月5日放送)

案内人 櫻井雪乃さん(教育学科4年)

鳴尾いちごを教材にした教育学科の取り組みを紹介しています。



#9

「授業で総合芸術・オペラを学ぶ」(2023年2月6日放送)

案内人 長田紫苑さん(音楽専攻科)

一年をかけて仕上げたオペラの学内公演に挑む学生に密着します。

撮影順調です!



#6 野球部キャプテン西田花さんの撮影風景

QRコード読み込みで
動画をすぐに見られます!



学生・生徒の活躍

日々の努力が生み出した、華々しい受賞結果をご報告

大学・短大

書道部

- 第73回毎日書道展(京都8月)
近代詩文書部 2位 除本 真理
- 第27回全日本高校・大学生書道展(兵庫8月)
篆刻部 3位 上田 真緒
かな部 3位 上田 真緒
かな部 3位 嶋田 鈴菜
かな部 2位 池田 千春
- 第69回日本書展(奈良11月)
仮名・漢字仮名交じり 2位 上田 真緒

カヌー部

- 第58回全日本学生カヌースプリント選手権大会(石川8月)
団体 女子総合 1位
団体 女子カヤック部門 1位
団体 女子カナディアン部門 1位
個人 WC-2 500m 1位 竹崎 杏、長岡 さくら
個人 WK-2 200m 2位 熊岡 亜弥、吉田 奈未
個人 WC-1 200m 3位 深尾 美萌彬
個人 WC-2 500m 2位 深尾 美萌彬、本田 愛実
個人 WC-1 500m 3位 深尾 美萌彬
個人 MVPカナディアン部門
個人 WC-1 200m 1位 本田 愛実
個人 WC-1 500m 2位 本田 愛実
個人 WC-2 200m 1位 竹崎 杏、長岡 さくら
個人 WC-1 500m 1位 竹崎 杏
個人 WK-2 500m 3位 栗原 萌衣、藤村 真帆
個人 WK-1 200m 1位 大島 沙耶佳
個人 WK-1 Relay 4×500m 1位 大島 沙耶佳、栗原 萌衣、富澤 侑彩、吉田 奈未
個人 WK-4 500m 1位 大島 沙耶佳、栗原 萌衣、富澤 侑彩、吉田 奈未
個人 WK-2 500m 1位 大島 沙耶佳、富澤 侑彩
- 第58回関西学生カヌー選手権大会(兵庫8月)
個人 WK-2 200m 1位 樋渡 千歩、福田 りん
個人 MVPカナディアン部門
個人 WC-1 500m 1位 竹崎 杏
個人 WK-1 500m 1位 福田 りん
個人 WC-1 200m 1位 竹崎 杏
- ICFジュニア・U23カヌースプリントワールドチャンピオンシップ(Szeged, Hungary8月)
個人 WC-1 200m B決勝 出場 小林 実央
個人 WK-2 500m B決勝 出場 樋渡 千歩、福田 りん
- 令和4年度日本カヌー選手権大会(石川9月)
個人 WC-1 200m 1位 小林 実央
個人 WK-1 200m 3位 大島 沙耶佳
個人 WK-2 500m 2位 熊岡 亜弥、富澤 侑彩
個人 WK-1 1000m 3位 熊岡 亜弥
個人 WK-2 500m 1位 福田 りん
- アジアパシフィックカヌースプリントカップ LAKE KIBA 2022(石川9月)
個人 K-1Women's U21 500m 3位 福田 りん
個人 Mixed mega relay 200m 3位 福田 りん
個人 K-2 Women's U21 500m 2位 樋渡 千歩、福田 りん
個人 K-4mix U21 200m 3位 樋渡 千歩、福田 りん
個人 K-4Women's U21 500m 2位 大島 沙耶佳、福田 りん
個人 K-1Women's U21 200m 3位 大島 沙耶佳
個人 K-1relay Women's U21 200m 2位 大島 沙耶佳、福田 りん

水泳部

- 第10回関西学生選手権大会(大阪6月)
水泳競技大会(大阪6月)
個人 100m平泳ぎ 1位 熊野 亜美
個人 200mバタフライ 1位 木本 絳奈乃
- 第19回世界選手権大会水泳競技大会(ハンガリー)
個人 出場 荒井 祭里
- 第96回関西学生選手権大会水泳競技大会(大阪7月)
個人 200m自由形 1位 渡邊 美有
- 第98回(2022年度)日本選手権水泳競技大会(栃木8月)
個人 女子高飛込 1位 荒井 祭里

体操部

- 第76回全日本体操種目別選手権兼「第51回世界体操競技選手権大会」日本代表第2次選考会(東京6月)
個人 種目別 ゆか 2位 杉原 愛子
- 第54回関西学生体操新人選手権大会(福井10月)
個人総合 1位 藤井 夢
- セノールチャレンジカップ第1回特別記念大会(福井10月)
個人総合 1位 辻前 綾里
個人 種目別 跳馬 1位 辻前 綾里
個人 種目別 平均台 1位 武内 莉帆

タッチフット部

- 第29回シュガーボールTouchdown杯争奪タッチフットボール日本選手権(神奈川6月)
女子団体 3位

ハンドボール部

- 第23回女子ジュニア世界選手権(スロベニア6月)
個人 女子日本代表U-20 世界選手権 出場 加藤 愛望

バレーボール部

- 第4回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会(兵庫7月)
個人 3位 宮下 真帆、宮 楓香

陸上競技部

- 秩父宮賜杯第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会フィールド(愛媛6月)
個人 三段跳 1位 岸野 美雨
- 天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会フィールド(京都9月)
個人 三段跳 1位 船田 茜理
個人 三段跳 3位 岸野 美雨
- 2022関西学生陸上競技種目別選手権大会兼第44回関西学生混成選手権大会フィールド(大阪10月)
個人 走幅跳 1位 船田 茜理

テコンドー同好会

- 7th Asian Taekwondo Poomsae Championships(G-4)(韓国6月)
個人 Freestyle Poomsae Individual Female Over17 出場 丹羽 結子
個人 Recognized Poomsae Individual Female Under30 出場 丹羽 結子
- 2022 Chuncheon Korea Open International Taekwondo Championships(韓国6月)
個人 Freestyle Poomsae Individual Female Over17 出場 丹羽 結子
個人 Recognized Poomsae Individual Female Under30 出場 丹羽 結子
- 第16回全日本学生テコンドー選手権大会(千葉9月)
個人 キョルギ女子-46kg 3位 磯村 美菜
個人 プムセ女子有段 1位 丹羽 結子
- 第16回全日本テコンドープムセ選手権大会(滋賀10月)
個人 U-30プムセ 2位 丹羽 結子
個人 U-17フリースタイルプムセ 1位 丹羽 結子

野球部

- 全日本大学女子野球選手権大会(富山8月)
団体 2位

個人

- 第73回毎日書道展(東京7・8月)
漢字部I類 3位 澤 まり
- 第27回全日本高校・大学生書道展(兵庫8月)
漢字部 3位 渡邊 志帆

中学・高校

カヌー部

- 令和4年度全国中学生カヌースプリント選手権大会(石川7月)
個人 カヤック女子シングル 優勝 中学3年/杉本 深寛
- 令和4年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会(香川8月)
個人 カヤック女子シングル500m 優勝 高校1年/岩井 瑞希
- 令和4年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会(石川9月)
個人 カヤック女子ペア 優勝 高校1年/岩井 瑞希
- 第18回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会(石川9月)
個人 カヤック女子シングル 2位 中学3年/杉本 深寛
- ASIA PACIFIC SPRINT CUP 2022(石川9月)
個人 U16 カヤック女子フォア 優勝 高校1年/岩井 瑞希
個人 U16 カヤック女子シングル500m 優勝 高校1年/岩井 瑞希
個人 U16 カヤック女子シングル200m 3位 高校1年/岩井 瑞希
個人 U16 カヤック女子シングル4×200mリレー 優勝 高校1年/岩井 瑞希
個人 MIX カヤックシングル6×200mリレー 3位 高校1年/岩井 瑞希
- 第77回国民体育大会カヌー競技大会(栃木10月)
個人 カヤック女子シングル500m 2位 高校1年/岩井 瑞希
個人 カヤック女子シングル200m 3位 高校1年/岩井 瑞希

創作ダンス部

- 第34回全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸(兵庫8月)
高校創作コンクール部門 準入賞 作品「我路(がる)」

水泳部

- FINA 世界ユース選手権大会 アーティスティックスイミング フリーコンビネーション 優勝 高校1年/小山 采花
- JOC 全国ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 アーティスティックスイミング 15~18歳 チーム優勝 高校1年/小山 采花

放送部

- 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト兵庫県大会(兵庫6月)
アナウンス部門 優勝 高校2年/三好 紅葉
優秀賞 高校3年/栗田 優希
優秀賞 高校3年/平田 舜珠
朗読部門 優秀賞 高校2年/阪上 絢香
校内放送研究集会(研究発表部門) 準優勝 「MBCライブオンエア改革」
- 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会(東京7月)
アナウンス部門 入選 高校3年/栗田 優希
高校2年/三好 紅葉
研究発表部門 奨励賞 「MBCライブオンエア改革」

書道部

- 第56回高山山競書大会(和歌山8月)
金剛峯寺賞 高校3年/竹内 真悠
管長賞 高校3年/毛勝 彩菜
毎日賞 高校1年/木村 友香
全日本書道連盟賞 高校3年/清水小夏、中澤 さつき
総長賞 高校2年/川野 湖遥、高橋 怜奈
審査委員長賞 高校3年/玉本 侑香、平岡 ひなの
南山賞 高校3年/畑本 莉香、野口 芽依
高校2年/糸山 紗弓

コーラス部

- 第89回NHK全国学校音楽コンクール全国大会(東京10月)
優良賞 中学コーラス部
- 第75回全日本合唱コンクール全国大会(青森10月)
金賞 高校コーラス部

個人

- 2022 Chuncheon Leisure Sports Festival(韓国9月)
チームスピード 2位 高校3年/吉田 澤乃
スピードスラローム 10位 高校3年/吉田 澤乃
クラシックスラローム 8位 高校3年/吉田 澤乃
ヘアクラシックスラローム 7位 高校3年/吉田 澤乃



詳しい附属中高生の活躍については、上記のQRコードからご確認ください。

スペースの都合上、代表的な成績を抜粋しています。記載されている学年は受賞時のものです。

大学・短大運動部の成績は健康・スポーツ科学科公式サイト内のブログ「MWU-Athletics.com」、中高生徒の活躍は毎月発行される「中高だより」にも詳しく掲載されています。

フランスに学ぶジェンダー平等の推進と日本のこれから



バリテ法制定20周年をこえて
著者名 富士谷あつ子、新川達郎編著
出版者 明石書店
出版年 2022.01
寄贈者 西尾亜希子(共通教育)

大きな文字とイラストで読むもう一度読み返したい源氏物語



ときめく光源氏ものがたり
著者名 たつみ都志著
出版者 リベラル社
出版年 2021.12
寄贈者 辰巳都志(名誉教授)

近現代日本教員史研究



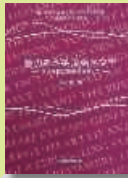
著者名 船寄俊雄、近現代日本教員史研究会編著
出版者 風間書房
出版年 2021.12
寄贈者 上田孝俊(教育研究所)

日本の「非正規移民」



「不法性」はいかにつぐられ、維持されるか
著者名 加藤丈太郎著
出版者 明石書店
出版年 2022.03
寄贈者 加藤丈太郎(英文)

魅力ある英語英米文学



その多様な豊饒性を探して
著者名 玉井暉編
出版者 大阪教育図書
出版年 2022.01
寄贈者 玉井暉(英文)

ストーリーとディスコース



小説と映画における物語構造
著者名 シーモア・チャットマン著
玉井暉訳
出版者 水声社
出版年 2022.1
寄贈者 玉井暉(英文)

20代の武器になる生き抜く! マーケティング



著者名 高橋千枝子編著、姜宗守、三嶋(原)浩子、矢野昌彦著
出版者 中央経済社
出版年 2022.3
寄贈者 高橋千枝子(経営)

Crossing the borders of modernity



fictional characters as representations of alternative concepts of life in Meiji literature (1868-1912)
著者名 Stephan Köhn and Chantal Weber
出版者 Harrassowitz
出版年 2022
寄贈者 山本欣司(日文)

ことば・ほとけ・図像の交響



法会・儀礼とアーカイブ
著者名 近本謙介編
出版者 勉誠出版
出版年 2022.3
寄贈者 山崎淳(日文)

The wisdom : for persuasive performers on the stage



articles & award-winning presentation ; v. 20
著者名 清水利宏編集
出版者 武庫川女子大学文学部英米文化学科 英米リーディング・センター 編集
出版年 2022
寄贈者 清水利宏(英文)

クイズでわかる近代建築 100の知識



著者名 建築史楽会編著
出版者 彰国社
出版年 2012.1
寄贈者 石田潤一郎(建築)

ビヨンド!



KDDI労働組合20年の「キセキ」
著者名 本田一成著
出版者 新評論
出版年 2022.4
寄贈者 本田一成(経営)

クロニクイルネスにおける「言いつらさ」と実践領域モデル



著者名 黒江ゆり子編
出版者 みらい
出版年 2022.2
寄贈者 賈田穂(看護)

コメディ・オヴ・マナーズの系譜



王政復古期から現代イギリス文学まで
著者名 玉井暉 ほか 編著
出版者 音羽書房鶴見書店
出版年 2022.5
寄贈者 玉井暉(英文)

薬効別服薬指導マニュアル



著者名 田中良子監修・編集、木村健、多田洋枝、土佐好子編集
出版者 じほう
出版年 2022.6
寄贈者 政田啓子(薬学)

医薬分業のための疑義照会



実態調査より
著者名 十万佐知子著
出版者 尚学社
出版年 2022.9
寄贈者 十万佐知子(薬学)

朝鮮漢文学史



著者名 車溶柱著、豊福健二訳補
出版者 朋友書店
出版年 2022.8
寄贈者 豊福健二(名誉教授)

伊藤正義中世文華論集 第四巻 文学史と思想史の間



著者名 伊藤正義著、阿部泰郎、寺島修一編
出版者 和泉書院
出版年 2022.10
寄贈者 寺島修一(日文)

社会関係資本



現代社会の人脈・信頼・コミュニティ
著者名 ジョン・フリード著、佐藤智子、西塚孝平、松本奈々子訳
出版者 明石書店
出版年 2022.11
寄贈者 矢野裕俊(教育)

保育園・幼稚園・こども園 1年間の園だより巻頭言実例72



著者名 中山大嘉俊編
出版者 教育開発研究所
出版年 2023.1
寄贈者 中山大嘉俊(学校教育センター)

ウィリアム・フォークナーの日本訪問

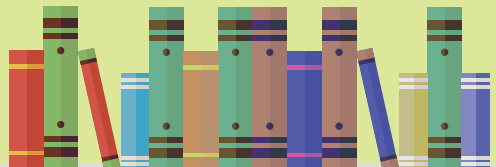


冷戦と文学のポリティクス
著者名 相田洋明編著、梅垣昌子 ほか 著
出版者 松籟社
出版年 2022.11
寄贈者 松原陽子(英文)

グローバルな社会・時代における算数数学教育



著者名 馬場卓也 ほか 編著
出版者 学術研究出版
出版年 2022.12
寄贈者 神原一之(教育)



BookCenter CULTURE RANKING

売れ筋ランキング@大学ブックセンター(紀伊屋書店に委託)調べ2022年1月～12月の売り上げを基に集計

BOOK TOP10

1. 80歳の壁/和田秀樹/幻冬舎
2. 柴犬まるのワン若心経/加藤朝嵐、小野慎二郎/リベラル社
3. ジェイソン流お金の増やし方/厚切りジェイソン/ぴあ
4. 20代で得た知見/F/KADOKAWA
5. 思考の整理学/外山滋比古/筑摩書房
6. 三千円の使いかた/原田ひ筑/中央公論新社
7. おきない世傳金と銀 十三 大海篇/高田都/角川春樹事務所
8. 淡かなえのことは結び/淡かなえ/角川春樹事務所
9. バカロアの哲学「思考の型」で自ら考え、書く/坂本尚志/日本実業出版社
10. エモイ古語辞典/堀越英美/朝日出版社

MAGAZINE TOP10

1. an-an
2. Myojo
3. AERA
4. ちっかいMyojo
5. ViVi
6. WINK UP
7. 文藝春秋
8. FUDGE
9. MIMI
10. ザ・テレビジョン関西版

CD&DVD TOP5

1. Snow Labo. S2 Snow Man
2. KAT-TUN LIVE TOUR 2022 Honey KAT-TUN
3. NEWS LIVE TOUR 2020 STORY NEWS ユーミン万歳!
4. ～松任谷由実50周年記念ベストアルバム～ 松任谷由実
5. BLUE PLANET ORCHESTRA SEKAI NO OWARI

わたしは異世界に
ヒストリカルワールド

DIVEする

2024年4月
歴史文化学科 誕生
(設置構想中)

Global Communication

英語文化専攻

2024年4月
英語グローバル
学科
2専攻制に

グローバル・
コミュニケーション
専攻

English and Culture

本学のURL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/>

QRコード [広報室 twitter
https://twitter.com/MWULavy](https://twitter.com/MWULavy)

QRコード [広報室 Instagram <Mukogress>
https://www.instagram.com/mwu.mukogress/](https://www.instagram.com/mwu.mukogress/)

QRコードの読み取り機能がある携帯またはスマートフォンをお持ちの方は、それぞれのQRコードをご利用ください。

一生を描ききる女性力を。

MUKOJO
ACTION
2019-2039